

【住所】〒816-0821 春日市若葉台東1-41-1
【TEL】092-581-1109 【HP】http://kasugahijimdo.com/
令和3年12月14日 文責:教頭 柴田 みどり



【重点目標】春日市の未来を切り拓くシティズンシップ教育の推進
- 「我的世界」から「我々の世界」を生きる市民性の育成を通して -



校長の話 「こんな学級を目指してみないか？」校長 山崎 明彦

「皆さんの学級は温もりのある学級ですか？それとも冷たい学級ですか？」そんな質問をされた時、皆さんはどう答えますか？学級の雰囲気一つで毎日の学校生活はがらりと変わるのではないのでしょうか？素敵なエピソードを紹介します。



当時、中学生の弟が、学校帰りに床屋で丸坊主にしてきた。失恋でもしたのかと聞いたら、「小学校からの女の子の友達が今日から登校するようになったからだ。」と言う。彼女は今まで病気で入院しており、薬の副作用で髪の毛が全部抜けてしまったらしい。

「女子が丸坊主じゃ恥ずかしいって言ってたし、だったら他にも丸坊主がいりゃいいかなと思って。野球部の奴らは元々丸坊主だけど、野球部じゃない丸坊主がいた方がいい」と弟は言っていた。

翌日、丸坊主で登校した弟は帰宅するなり「同じ奴が一杯いた！」と。なんでも、優等生から茶髪問題児を含め、クラスの男子全員が丸坊主かそれに近い頭になっており、病気の子と仲の良い女の子達までベリーショートになっていたらしい。

しかも、女の子の中の一人は完全な丸坊主になってたらしい。更に担任の先生(男性)まで丸坊主。丸坊主だらけの教室で、病気の子は爆笑しながら「ありがとう、ありがとう」と泣いたという。

示し合わせたわけでもないのに、全員同じ事を考える弟のクラスに感動した・・・
＜Facebook「魔法の感動物語」投稿から抜粋＞

「こんな学級、あるわけねーじゃん！」と考える人もいるかもしれません。

でも大切にしてほしいことは、毎日生活する教室という空間の中で、共に生活する仲間のことを思う「心」をもってほしいということなんです。人間は、決して一人だけでは生きてはいけません。多くの人と関わりながら生きていくもの。その時に、一番大切なのは相手の気持ちを感じる「心」だと信じています。

大人になっても、その「心」を持ち続けるために、あなたたちは教室の中で多くの学びを続けながら「自分探しの旅」をしていると思うのです。

3年生は受験に向け、みんな苦しい毎日です。でも、みんなが互いの気持ちを分かり合って「がんばろう！」と励まし合うことが出来たら、みんな目の前の困難を乗り越えることが出来るはず！1、2年生も今の学級で生活するのは残り3ヶ月ちょっとです。仲間のことを思う「心」をもって仲間に接することで、今以上に温もりのある学級が築けるはず！皆さんにとって、いつまでも心に残り続ける学級を築いてほしいと願っています。

1年生ふれあい学級 令和3年11月29日(月) 宗像グローバルアリーナにて



11月29日(月)に1年生がふれあい学級で、宗像グローバルアリーナに行きました。感染拡大予防のため、日帰りとなりましたが、天気にも恵まれ、タグラグビーやキャンドルの集いなど思い出に残る体験ができました。ふれあい学級で培った規律や友情をぜひ、日常生活につなげていって欲しいと思います。

食育講演会 R3.11.22



12月24日のお弁当の日に向けてJA全農より講師の先生をお招きして食育講演会を実施しました。子どもたちがお弁当作成を頑張ると思いますので、ご支援よろしくお祈りします。

春日市六中サミット inいずみホール R3.12.4



12月4日に春日市の6校の生徒会役員が東中のいずみホールに集まってリーダー研修を受けました。どの生徒も朝は緊張していましたが、終了時は挨拶の声もひときわ大きくなり、自信が出てきたように感じました。冬休みには校内のリーダー研修があります。今回の学びを生かして頑張りたいと思います。

感染予防対策の継続について



学校では、これから3年生の進路選択時期となり、これから先も、感染症対策が必要とされます。各教室では、加湿器等も設置し、引き続き、マスク着用・換気・三密を避ける等の対策を徹底してまいります。玄関と保健室に検温表示器を設置しております。保護者や地域の方々も、来校の際はご活用下さい。また、ご家族やお子様の体調が優れない場合は、登校を控えていただきますよう、お願いいたします。家族や本人が検査対象になった場合は、引き続き、学校に連絡をお願いします。

東中ホームページの校長日記にも日頃の活動の様子を掲載していますので、ぜひご覧ください。